

0きん じょう てん か

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
3月21日発行 NO.39
文責 出崎友英

休眠打破

3月も下旬に入りましたが、今週は肌寒い日が続きました。三寒四温と言われるように、寒い日と温かい日が交互に訪れる、日本の早春特有の気候です。

こうして、三寒四温を重ねながら、もうすぐ春が来ます。春の訪れと言えば、やっぱり桜の開花です。

熊本での今年の桜の開花は3月27日頃と、先日報道されていました。桜咲きほころぶ春が、そこまで来ています。

桜が開花するためには、いくつかの条件が重なることが必要だと聞いたことがあります。

桜は、夏の暑い時期に次の春に咲く元になる花の芽を作ります。そして、その後しばらく眠るそうです。その花の芽は、冬の厳しい寒さに一定期間さらされることで、その眠りから覚めます。厳しい寒さがその眠りを打ち破る。これを「休眠打破」と言います。そして、その後の気温上昇で成長して花が開くのです。冬の寒さが不十分だと、春が来てどんなに暖かくなっても見事な花は開きません。

だから、冬の季節がない常夏の国では、日本の桜は美しく花咲くことはできないそうです。

桜が春になって見事に花開くためには、冬の厳しい寒さを経験することが必要不可欠なのです。➤

人間だって同じだと思います。人は誰でも、冬の厳しい寒さのような悩みや苦難に出逢います。

自分の持っている、自分すらも気付かない秘めた力が目を覚ますのは、厳しい状況を体験してそれを乗り越えた時だと、私は思います。そんな経験を通して、私たちは成長するのです。

過去が咲いている 今
未来のつぼみで 一杯の今

これは、陶芸家の河井寛次郎さんの言葉です。

自分がこれまで重ねてきた努力が、今見事に花開いている。そしてこれからの努力で、大きく花開く未来が待っている、という意味だと思います。

これまでの過去と今ある自分を受け入れること。そして、未来に向けて夢や希望を持って歩むこと。そんな大切なことを教えてくれる言葉です。

生徒の皆さん。1年が終わり、また新しい1年が始まります。これからも、君たちを待ち構える困難や挫折に負けないで、しかるべき時にしっかりと花を咲かせるべく、頑張り続ける人でいてください。



2年生の立志記念登山

3月14日(金)、2年生が立志記念登山に挑みました。

これは、実行委員会の生徒たちが中心となって企画・実施した行事です。飯田山山頂まで片道10kmほどの道のりを歩き、頂上で立志記念の「錦フェス」を行いました。

それぞれがこれまでを振り返り、新たな志を持ってこれからの生活に生かしてくれることだと思います。2年生の皆さん、先生方おつかれさまでした。保護者の方々には見守りや交通整理など、サポートいただきありがとうございました。



◆お知らせ・お願いです。

○3月19日(水)、「校則についての意見交換会」を行いました。生徒会が行った1、2年生対象のアンケート結果をもとに、これまでに行った校則の見直しについて振り返りを行い、今後検討すべき項目について生徒と先生、保護者で意見交換をしました。参加した生徒が、自分の考えをしっかりと述べている姿がとてもよかったです。参加された皆様、ありがとうございました。



○3月25日から4月8日まで春休みになります。新学期に向けて準備をする大切な期間ですが、あわただしくて不安定な状況になりがちです。安心・安全に過ごせますように、ご家庭での見守りや声掛けをお願いします。何かありましたら学校へご連絡ください。

冬があり夏があり、昼と夜があり、
晴れた日と雨の日があって、ひとつの花が咲くように
悲しみも苦しみもあって、私が私になってゆく。

星野富弘さんの言葉